確かなまなびと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立白鷺幼稚園
園長 向井 敦

令和6年度 重点目標

たくましく心豊かに生きる人間性の基礎を育成する ～子ども一人一人に寄り添いながら心豊かに生き生きと遊ぶ子どもを育成する～

- (1) 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続 (2) 個に応じた支援の充実 (3) 豊かな人権感覚と道徳性の育成 (4) 体力向上と健康的な基本的生活習慣の確立

まなびの現状

- (3歳児) 初めての集団生活に戸惑いながらも、教師に寄り添ってもらい、園での生活の仕方を知ろうとしている。年中や年長組のやっていることをまねて、自分のしたいことを探しながら遊ぶ姿が見られる。
- (4歳児) 友だちと誘い合い、意欲的に関わりながら遊ぶ姿が見られる。当番活動に意欲的で、自分の役割を知り教師の手伝いや植物・虫などの世話も積極的に行う姿が見られる。少し難しいことにも挑戦したい、やってみたくと様々な活動に意欲的に取り組んでいる。
- (5歳児) 友だちと意欲的に関わりながら、好きな遊びに夢中になって取り組む姿が見られ、生活習慣やルールもひとつずつ確認している。制作活動では友だちに教えたり、教わったりしながら取り組む姿が見られる。

こころ・からだの現状

- (3歳児) 入園当初は保護者と離れがたく泣いてしまう幼児もいたが、少しずつ園に慣れ、大好きな遊びや場所を見つけて教師と共に楽しんで遊ぶ姿がある。
- (4歳児) 進級当初は、少し緊張している様子が見られたが、しばらくすると安心して活発に遊び始める。様々な遊びを友達とかかわって楽しむ姿が見られる。
- (5歳児) 友達とかかわりたいという思いはあるものの、自分の思いだけで遊ぼうとする姿が見られる。教師が仲立ちしながら、自分たちで遊びを進められるように支えていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	学びに向かう力	心豊かに生き生きと遊ぶ子を育成する	●年齢に応じた大切にしたい姿を探り、主体的に遊ぶ楽しさを味合える遊びの充実を図る	・子どもの姿容に対する保護者アンケート肯定的評価80%以上	園内研修・保育記録 保護者アンケート	年度末	毎月の保育のねらいを明確にし、学びの基礎を育めるよう主体的に遊ぶことができるように環境等の工夫を行った。	A	【保護者アンケートより】 ・(3)自らの良さを認め、自信を持つ…93% ・(4)主体的に取り組む姿…100% ・(6)子どもが主体的に遊ぶ教育活動…100% ・(17)子どもが興味・関心をもつ教育活動…100% それぞれ興味をもった遊びをし、工夫したり工夫したりする姿があった。また、表現遊び、運動遊び、ごっこ遊び等、色々な遊びの中に子どもたちの主体的な姿が見られた。	A	公立幼稚園の子どもたちがのびのびと活動している様子が見られました。園生活を遊びを中心に過ごすことで、子どもたちに主体性が生まれ、先生や友達に認められる中で自己肯定感や自信が育まれている。卒園後も小学校へ楽しく登校できる基盤となっている。
			自分で考え挑戦し、自信につながる環境構成を工夫する	・子どもの意欲につながる保護者アンケート80%以上	園内研修・保育記録 保護者アンケート			A	【公開保育アンケート結果より】 ・公開保育・討議会に参加して学びになった…100% 写真を使って事後討議を行うことで多様な見方・自分とは違う捉え方に触れることができた。保育の改善が子どもの成長につながった。また、写真を使い子どもの学びの土台を可視化することでよみとりがより深まった。	A	先生方の研修が子どもたちへのかわり方や保育に良い影響を与えていることがわかりました。子どもたちが遊びたくなるような環境の工夫を今後も継続してほしい。
豊かな心	豊かな心	人とのふれあいをとおして、人とかわかる力・相手を思いやる心を育てる	●幼児の実態と課題を丁寧に見取り、個の特色に応じた支援と意欲的・主体的な環境づくりを行う	・全組が研究保育に取り組み、その成果を市教委から講評を受け判断	講評・実践報告・教員アンケート	年度末	研究実践園として、テーマに沿った研修が行えるよう全職員で研修を行い、幼児の様子を支援できるよう情報を共有した。また、小学校の施設を借りて公開保育を行うなど幼小のつながりを意識した保育を行った。	A	【保護者アンケートより】 ・(11)一人一人が安心して自己表現ができる環境…98% ・(12)思いやり・優しさ・命を大切に育む心…100% ・(14)人とかわかるクラス活動・異年齢活動…100% ・(15)植物・生き物など自然に親しめる環境…100% 小学校と1年を通して交流ができた。子どもたちの思いに寄り添い、遊びができる環境を工夫した。また、季節に応じた植物の栽培や生き物の飼育環境を整え、子どもたちの自然への関心を高めた。たくさんの生き物に触れ、命の大切さを感じた。	A	交流を通して、小学校への憧れや小学生になったときの安心感が育まれると思う。また、年少児が年長児の真似をするなど、異年齢ならではの学びがあることは素晴らしい。園内には四季を感じる植物があり、子どもたちが生物や植物と触れ合う機会が提供されている。
			●基本的な生活習慣の確立を図る	・全教員で研究保育を行い、成果と課題を共有する(年3回、公開保育含む) ・教員アンケート80%以上	園内研修・研究保育 教員アンケート			A	【保護者アンケートより】 ・(5)(13)基本的な生活習慣…100% ・(18)運動したくなる環境づくりや運動遊び…100% ・(19)安全に対する意識や習慣…100% 食育や体のしくみの指導を通して身体について気づきを促したり、清潔チェックを行って病気になる予防意識の醸成を図った。生活チャレンジカードを活用して家庭と協力して生活習慣の見直しを行うことができた。月に1度の運動会を通して安全に対する意識を高めた。なりきり遊びやリズム運動、かけ足などを通して運動した。	A	子どもたち自身に病気の予防の意識を持たせたり、安全点検を定期的に行うなど、安全な園を目指していることがわかりました。また、家庭と協力することで保護者にも意識付けを行っています。今後も子どもたちの安全をしっかり守ってほしい。
子育て支援	家庭・地域の連携	健康・安全に対する意識をもち、進んで体を動かして遊ぶ子を育てる	●園だよりやHP、園長講話で教育活動の周知や情報発信を行い、保護者啓発の充実を図る	・発達に合わせた保健指導を行っている ・保護者啓発を中心とした保健便りの発行 ・保護者アンケート80%以上	実態把握 保護者アンケート	年度末	生活チャレンジカードの取り組みを通して家庭と協力し、基本的な生活習慣が身につくよう実践したり、毎月の運動会練習を欠かさず行い、安全指導を行ったりした。	A	(保護者アンケートより) ・(21)地域の人たちとの交流…100% ・(22)HP等で情報発信している…100% ・(25)子育て支援に努めている…100% 毎日のHP更新、学期終わりの園長講話、園だより等、教育活動の周知を行った。月2回の未就園児招待を、保護者や地域の方にも協力いただき開催し、園の様子を知ってもらうことができた。七夕のつどい等で地域の方と交流した。	A	子どもたちのコマ回しや一輪車、けん玉などに取り組み、習得している様子をもっと発信することで、「幼稚園ではこんなこともできるようになります」というアピールになるのでは…。
			●園だよりやHP、園長講話で教育活動の周知や情報発信を行い、保護者啓発の充実を図る	・定期的な情報発信や保護者啓発が実施できている。 ・アンケート80%以上	HP更新回数 実態把握 アンケート			A	園だよりやHPで情報発信を行うとともに園長講話や絵本講習会を行うなど、保護者への啓発を図った。また、月2回の未就園児招待を実施した。	A	子どもたちのコマ回しや一輪車、けん玉などに取り組み、習得している様子をもっと発信することで、「幼稚園ではこんなこともできるようになります」というアピールになるのでは…。

園長より

保護者アンケートの結果、昨年度を上回る項目が約7割あり、子どもたちが幼稚園での生活を楽しんでいることや、行事の取り組みが高く評価されていることがわかりました。幼稚園まつり、バザー、運動会の準備係など、保護者の方々からの多大な協力により、園の行事が円滑に進められました。また、七夕のつどいや餅つきなどの行事には地域の方々にもご参加いただき、子どもたちと交流していただきました。小学校では、子どもたちの交流だけでなく、プールを借りて公開保育を行いました。保護者や地域、小学校の協力を得て、教育活動を進めることで、子どもたちの成長に繋がりました。さらに、桜の樹の伐採や日除けの補修など、子どもの安全を最優先に考えた対策を実施しました。

学校関係者評価者から

子どもたちを楽しくのびのびと育てる環境は、園だけでなく地域や保護者の方々との協力によって作られている。学ぶ環境を工夫し、子どもたちがさまざまな物事や他の人の行動に疑問を持ち、それを体験して学ぶ場所や機会を提供してほしい。